

### (3) 防災訓練について

#### 【1】令和6年度犬山市総合防災訓練の結果報告

##### 日 時

令和6年11月10日（日） 9:00～12:00

##### 開催場所

犬山西小学校（犬山市上坂町五丁目2番地）

##### 参加人数

921名

参加者 654名（犬山西小学校区住民）

協力団体 162名（ブース出展企業、西小学校区コミュニティ推進協議会、消防団）

観覧者 20名

市役所 85名

##### 成 果

西小学校区コミュニティ推進協議会及び市職員を対象に、事前訓練を実施したことにより、当日の避難所運営訓練や資機材の取扱い訓練を滞りなく行うことができた。これにより、コミュニティや参加住民に実災害時は自分たちが中心となって避難所運営を行うという認識の共有を図れた。



## 【2】令和7年度犬山市総合防災訓練の計画案について

### 日 時

令和7年11月9日（日） 午前中

### 開催場所

羽黒小学校（犬山市大字羽黒字前川原 67 番地）

### 対 象

羽黒小学校区住民

### 内 容（予定）

- ① 自主防災組織の活性化
- ② 避難所運営委員会の設置の足がかりとなる取り組み
- ③ 防災知識の啓発

※羽黒地区コミュニティ推進協議会を中心とした避難所運営訓練。

### 方針・目的

- 災害時におけるコミュニティ及び自主防災組織の役割を再確認することで、それぞれの組織の活性化を図る。
- 学校区を対象とした事業実施により地域を越えた防災活動の定着を目指す。
- 各企業・団体の協力による啓発ブースの出展で、防災に関する普及啓発を行う。

### 【3】令和6年度 土砂災害に強い地域づくり活動の結果報告

#### 日 時

令和6年6月9日（日） 9:30～11:30

#### 開催地区

今井地区

#### 参加人数

84名

参加者 60名（今井地区住民）

協力団体 1名（犬山警察署）

観覧者 13名（市議会議員、県議会議員、あいち防災リーダー会犬山）

市役所 10名

※メディア（尾北ホームニュース）

#### 成 果

今回の訓練では、住民一人ひとりが自分の状況に合わせたハザードマップの作成に取り組んだ。

同じ地区内であっても、住んでいる場所や世帯状況によって避難のタイミングや逃げ先が変わってくるため、各々の「マイ・ハザードマップ」を完成させることで、有事の際の的確な避難行動に繋がるとともに、防災意識の向上を図ることができた。



## 【4】土砂災害に強い地域づくり活動の計画案について

### 日 時

令和7年6月8日（日） 午前中

### 対 象

倉曾町内会

### 訓練内容

土砂災害による緊急避難を想定した避難訓練

### 方針・概要

倉曾町内会においては、土砂災害の危険のある区域が多く、災害時には孤立する可能性があるため、今回の訓練では対象地区住民一人ひとりの避難先及び避難方法を再確認し、緊急時の「いのちを守る行動」につながる適切な避難行動の普及啓発を行うことを目的とする。

また、一番近い避難先である「エナジーサポート株式会社」にて実施し、施設の確認や機能の確認を行う。



参考：過去の実績

H28年度	H29年度	H30年度 (総合訓練同時開催)	R1年度	R4年度	R5年度	R6年度
栗栖地区	入鹿地区	内田地区	倉曾洞地区	入鹿地区	栗栖地区	今井地区

## 【5】令和6年度福祉避難所開設訓練（職員訓練）の結果報告

### 日 時

令和6年10月26日（土） 14:00～16:00

### 開催場所

城東第2子ども未来園（犬山市大字前原字南中根1番地）

### 参加者

- |            |          |    |             |      |
|------------|----------|----|-------------|------|
| ・ 市長       | ・ 防災交通課  | 5名 | ・ 保険年金課     | 2名   |
| ・ 防災監      | ・ 福祉課    | 2名 | ・ 子ども未来課    | 15名  |
| ・ 健康福祉部長   | ・ 高齢者支援課 | 2名 | （うち子ども未来園園長 | 12名） |
| ・ 子ども・子育て監 | ・ 障害者支援課 | 2名 | ・ 子育て支援課    | 2名   |
|            | ・ 健康推進課  | 3名 |             |      |

計37名

### 成 果

今回の訓練では、乳幼児や妊産婦を対象として実施し、福祉避難所開設時の一連の業務を確認するとともに、問題点や課題を整理した。

災害対策本部内及び関係機関間の連携では、情報の整理や伝達方法の課題が明らかになった。ほかにも、避難者のトリアージや、福祉避難所に対応する人員の問題、必要な資機材などについても今後検討が必要である。



## 【6】ペット同室避難 避難所開設訓練の結果報告

### 日 時

令和7年1月20日（月） 午後2:00～午後4:00

### 開催場所

犬山市体育館 エナジーサポートアリーナ  
（犬山市大字羽黒字竹ノ腰17番地2）

### 参加人数

84名

参加者 9名（※犬6匹、猫2匹）

協力団体 12名（愛知県災害対策課、犬山動物総合医療センター、あいち防災リーダー会犬山、ミズノ株式会社、NPO法人にこっと等）

市役所 14名（避難所担当職員、防災交通課）

見学者 49名（他自治体職員等）

### 成 果

ペット同室避難が可能な犬山市体育館エナジーサポートアリーナで、実際にペットを同行し、ペット同室避難所の開設から閉鎖までの流れを確認し、その後、犬山動物総合医療センターに移動し受入訓練を行った。振り返りでは、訓練の感想や課題を参加者全員で共有した。

- ・災害時は人員が不足するため、避難者の協力が不可欠【避難所担当】
- ・受入個体数が限られるため、動物の受入判断は受付で行えると良い。【避難所運営補助】
- ・利用者の安全確保と避難者の受入れについて同時に対応できるかが課題【施設管理者】
- ・飼い主と離れるとパニックになるペットがいるため、ケアセンターに連れていくペットの判断が難しい【犬山動物総合医療センター】
- ・避難所設営時、飼い主とペットが離れることが不安【避難者】



## 【7】令和6年度災害ボランティアセンター開設訓練の結果報告

### 日 時

令和6年7月23日（土） 18:15～20:15

### 開催場所

南部公民館（犬山市大字羽黒字摺墨11番地）

### 参加者

- |          |                      |    |
|----------|----------------------|----|
| ・ 市長     | ・ 防災交通課              | 5名 |
| ・ 副市長    | ・ 福祉課                | 3名 |
| ・ 防災監    | ・ 文化推進課              | 2名 |
| ・ 健康福祉部長 | ・ 社会福祉協議会            | 9名 |
|          | ・ 災害ボランティアコーディネーターの会 | 9名 |

計32名

### 成 果

今回の訓練では、災害ボランティアセンター開設からボランティアの受入までの一連の業務を確認するとともに、問題点や課題を整理した。

運営スタッフ間の連携では、情報の整理や伝達方法の課題が明らかになった。

ほかにも、人員の問題、ニーズの把握、必要最低限の資機材の準備などについても今後検討が必要である。

